

**2021年度（総合型選抜）AO選抜入学試験 文学部 東アジア研究学域
「人文学プロポーズ方式」**

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
東アジア研究学域	12	5	3

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

第一次選考では、まずエントリーシートについて、以下の三点について明確な文章で表現できているかどうかを評価しました。

- ①高校までの学習・課外活動に対して、どのような姿勢で取り組み、どのような学びを得たのか。
- ②東アジア研究学域に入学後、どのようなテーマで研究したいと考えているのか。
- ③卒業後のキャリアに、東アジア研究学域での学びをどう活かしていきたいのか。

さらに、プロポーザルシートについては、以下の三点について評価しました。

- ①入学後に探求したいテーマと具体的な内容について、主体的な問題意識に基づき、論理的、客観的に論じられているか。
- ②①に基づいた学習・活動計画について、東アジア研究学域での学びを理解したうえで、文章だけでなく図表などを使い明確に表現されているか。
- ③上記の内容について、主体的学びへの意欲や独創性が示されているか。

(2) 解答状況

エントリーシートについては、上記の三点が、比較的適切にまとめられていました。

プロポーザルシートは、①についてはごく身近な体験や普段の授業に関するものもあれば、課外活動で成果を得たことなどが書かれており、比較的明確なものが多くありました。②については、テーマに対し具体的な計画が書かれているものもあれば、漠然としたことが書かれているだけで、学域の学びについてあまり理解していないような内容のものも見受けられました。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

第二次選考では、プレゼンテーション（質疑応答含む）と面接を行いました。まずプレゼンテーション（質疑応答含む）については、以下の点を評価ポイントとしました。

- ①プレゼンテーションの内容（研究したいテーマ）が、東アジア研究学域における学びと合致しており、基礎的な学力を有しているか。

- ②プレゼンテーションの内容が、主体的な問題意識に基づき、十分な準備や分析がなされているか。
- ③研究計画が具体的であり、計画性（実現可能性）を備えているか。
- ④プレゼンテーションの内容が明確で分かりやすく、質問にも的確に応答できるか。

次に面接については、以下の点を評価ポイントとしました。

- ①高校までの学習や課外活動に対して、どのように取り組み、どのような学びを得たのか。
- ②東アジア研究学域を志望する理由と、入学後に計画している学びとが結び付けられているかどうか。
- ③東アジア研究学域での学びを卒業後のキャリアにどう活かしていきたいのかが具体的に考えられているか。

(2) 解答状況

プレゼンテーションについては、一定程度の調査結果や分析を備えた内容になっており、かつ表現に工夫を凝らしてわかりやすいものもありました。一方でテーマに対して分析、結論といった形になっておらず、ごく簡単に一部の情報をまとめただけのもの、あるいは単に自分のやりたいことや計画を述べるだけになっているものもありました。

面接については、多くの受験生が面接者の質問に対して、比較的的確に答えることができました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

プレゼンテーションでは、「入学後に探求したいテーマと具体的な内容」を中心に「学習・活動計画」を10分間でまとめ、発表してもらいました。その後、内容についての質疑応答を行いました。

面接では、高校までの学習や活動、大学進学後の学び、卒業後の目標や将来のビジョンなどについて幅広く質問しました。適宜、プレゼンテーションについての補足質問も行いました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

プレゼンテーションでは、大学で学ぶための基礎的な力、研究したいテーマの内容と準備状況、課題や大学での学びに対する意欲と計画性、東アジア研究学域での学びについての理解がどの程度かを判断しました。面接では、大学での学びに対する意欲や将来のビジョンの具体性などを判断しました。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

プレゼンテーションについては、見やすさを追求することも重要ですが、発表の内容（調査や分析）がより重要です。研究したいテーマを考える上でも、日ごろから関連する分野の読書を心がけることや、東アジアのニュースについて客観的で偏りのない情報収集に努めて欲しいと思います。また、単にその情報を入れるだけではなく、踏み込んだ考察をすることを望みます。

東アジア研究学域は、文学・思想・歴史・文化・社会など多様な観点から、東アジア

全般について学ぶコースです。したがって、学生に対しても東アジア全体に対する幅広い視野に立った学びを深めていくことを求めています。受験生の皆さんも、東アジア全般への広い関心を持ち、知識を深めていってください。そして、東アジア研究学域ではどのような学びができるのか、自分はそこでどんなことを研究したいのか、それらについてより具体的に考えを深め、入学した後の自己像をしっかりとイメージしておいてください。

以上